外国語教育メディア学会
LET
九州・沖縄支部だより

第 69 号(2018 年 5 月 7 日)
LET 九州・沖縄支部事務局発行
〒841-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1
福岡大学 共通教育研究センター
文系センター14 階 1419 林 幸代研究室
TEL: 092-871-6631(内線)3343
E-mail: secretariat@j-LET-ko.org
編集:植田正暢・大下晴美・竹野茂・事務局

外国語教育メディア学会(LET)九州・沖縄支部長に就任して

LET 九州・沖縄支部長
長 加奈子 (福岡大学)

この度，外国語教育メディア学会九州・沖縄支部の第 8 代支部長に就任いたしました。また，支部事務局長として，林幸代先生(福岡大学)にその重責を担っていただくことになりました。2018 年 4 月より 2 年間，どうぞよろしくお願いいたします。

外国語教育メディア学会は，今年で設立 58 年を迎えます。また，九州・沖縄支部は学会設立 10 年を経て関西支部より独立する形で設立され，今年で 48 年目，あと 2 年で，50 年の節目を迎えます。長きに渡る外国語教育メディア学会九州・沖縄支部の歴史とその活動内容を振り返るにつけ，諸先生方が作り上げてこられたこの支部を担う責任の重さをひしひしと感じ，身の引き締まる思いです。

この 48 年間，外国語学習を取り巻く環境は大きく変わってきました。PC やインターネット，スマートフォンの普及により，作られた学習用教材ではなく，オーセンティックな外国語に，手軽にそして無料で触れることができるようになっています。また，昨今では VR や AI を用いた外国語学習も導入され始めています。外国語を使用する環境も，48 年前と比べ，格段に増えています。街に目をやると，アジアをはじめとする海外からの多くの観光客が，日本の自然，文化，食を堪能しています。インバウンドの需要が高まるにつれ，様々な職業で，外国語のスキルが求められるようになりました。外国語を学ぶこと，使うことは，特別なことではなく，我々が社会生活を送る上で当たり前に行われることになっています。

このような時代の変化の中，九州・沖縄支部も節目となる 50 年目へ向けて，歩みを進めています。本学会の特徴の 1 つとして，第 6 代支部長の島谷浩先生(熊本大学)が，丹羽義信 LLA 第 5 代会長の巻頭言を引用されて，次のように書かれています。

> 中・高・短大・大学の教員は，すべて同等の参加資格を持つ

これは，これまで LET が大事にしてきた観点です。2018 年度から一部始まっていますが，本格的な小学校英語教育改革が 2020 年度か

ら実施されます。小学校に「英語」が教科として導入されます。小・中・高・短大・大学の教員が協力し合わなくてはならない時に来ています。現在，支部運営委員会では，中学・高校の先生に，お忙しい中，ご参加いただき，支部運営にご協力をいただいています。また，支部研究大会では，これまで小学校，中学校，高校の先生方にご登壇いただき，共に学んでまいりました。今年度の支部研究大会のシンポジウムでも，中学・高校・大学，それぞれに所属される先生方にご登壇いただきます。より良い外国語教育のために，小学校・中学・高校の先生方と協力し，お互い学び合える環境を，さらに作っていきたいと考えています。

九州・沖縄支部の先生方が 48 年前に関西支部から独立された際に抱いていらした熱い思い，そして 48 年間大切にされてきたものを，今後も大切に守りつつ，時代の変化に対応しながら支部運営を行っていきたいと思っています。会員皆様のご協力，どうぞよろしくお願いいたします。

事務局就任のごあいさつ

LET 九州・沖縄支部事務局長
林　幸代（福岡大学）

2018 年度より，松崎徹先生の後任といたしまして LET 九州・沖縄支部事務局長を務めさせていただくこととなりました。これまでの松崎先生の事務局長としてのご尽力に感謝申し上げます。今年度，運営委員会に加えていただいたうえ，このような大役を仰せつかり，身の引き締まる思いでございます。これから，新しく支部長に就任されました長加奈子先生をはじめとする新執行部のもと，学会の発展と円滑な支部運営のために精進してまいりたいと思っておりますので，皆様どうぞよろしくお願いいたします。現在，支部長兼支部研究大会実行委員長の長加奈子先生のご尽力のもと，6 月に開催されます第 47 回支部大会の準備に取り掛かっております。よりよい大会となるよう，実行委員全員で準備いたしております。会員のみなさまのご参加を，心よりお待ちいたしております。また，2 年後の 2020 年には LET 九州・沖縄支部主催の全国大会開催，さらに支部創立 50 周年記念と大きなイベントが控えております。みなさまのお力添えをいただきながら，事務局として滞りない運営ができますよう，精進してまいります。今後とも，ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

支部長退任のごあいさつ

LET 九州・沖縄支部前支部長
田口　純（岡山理科大学今治キャンパス）

LET 九州・沖縄支部の皆様，平成 30 年 3 月 31 日をもって支部長を退任いたしました田口です。平成 28 年度からの 1 期 2 年ではありましたが，LET 九州・沖縄支部の運営にご尽力を賜り，感謝申し上げます。

前支部長の島谷浩先生のあとを継いで，平成 28 年 4 月から 2 年間，皆様のご理解とご協力のおかげで，LET 九州・沖縄支部の運営を行うことが出来ました。改めてお礼申し上げます。この間に 2 つの支部研究大会を無事開催できました。平成 28 年度支部研究大会の実行委員長 植田正暢先生と平成 29 年度支部研究大会の実行委員長 林裕子先生のご尽力のたまものです。また，支部研究大会に当たっては，担当副支部長として長加奈子先生には大変お世話になりました。

支部紀要は現在進行中のものを含め，2 つの号を発行することが出来ました。紀要編集委員の先生方，査読委員の先生方には改めて感謝申し上げます。紀要編集担当副支部長の荒木瑞夫先生には紀要編集委員長として，紀要編集の任だけでなく，J-STAGE への掲載についてもお骨折りいただきました。改めて感謝申し上げます。

メールマガジン担当委員の田上優子先生と麻生雄治先生，「支部だより」編集委員の植田先生と林先生，タイトなスケジュールの中，会員の皆様への情報提供をありがとうございました。また，支部選出の委員として，学会誌編集委員の大薗修一先生と東矢光代先生，国際交流委員の古村由美子先生，学会賞選考委員の大津敦史先生には，それぞれ全国と支部との橋渡し役としてご尽力いただき，お礼申し上げます。

さらに，支部運営を円滑に進めて来られましたのは，事務局長の松崎徹先生のお力があったからでございます。ありがとうございました。また，長先生には，副支部長の仕事だけでなく，前事務局長のご経験を活かして，松崎先生とともに事務局の運営を支えていただきました。感謝申し上げます。皆様のお力添えのおかげで，支部長の職責を全うすることが出来ました。ありがとうございました。

平成 30 年度からは体制を一新し，長加奈子先生（福岡大学）が支部長に就任され，副支部長に古村由美子先生（長崎大学）と植田正暢先生（北九州市立大学），事務局長に林幸代先生（福岡大学）がそれぞれ就任されます。支部長の長先生はこれまで事務局長，副支部長を歴任され，九州・沖縄支部の運営について献身的に運営をなさってこられました。いままで以上に支部の発展に寄与していただけると確信しております。副支部長の古村先生には支部紀要編集委員長も兼任していただくことになりました。また，植田先生には 2020 年度に九州・沖縄支部で開催予定の全国大会実行委員長も兼任していただいております。全国大会についてはすでに準備も進んでおり，新しい体制のもと，さらに具体的になっていくことと思います。長支部長，植田実行委員長を中心として支部会員の皆様のご理解とご協力によって，第 60 回大会が素晴らしい大会になることを祈念しております。事務局長に就任される林先生には会員の皆様との間でのスムー

ズなコミュニケーションが図られることと思います。そのほか，支部運営委員，評議員，各種委員会委員の先生方にはよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが，LET 九州・沖縄支部のますますのご発展と支部会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

第 47 回（2018 年度）支部研究大会のご案内

大会実行委員長　長　加奈子（福岡大学）

2018 年 6 月 16 日（土）に福岡大学（福岡市城南区七隈 8 丁目 19-1）の文系センター棟におきまして，外国語教育メディア学会第 47 回九州・沖縄支部研究大会が開催されます。大会テーマは，「運用力を高める4技能統合型授業に向けたアプローチ」です。

グローバル化する社会において「自分の意図を相手にきちんと伝えることができる力」が求められるようになってきています。また，2020 年度より大学入試の英語試験も4技能を評価する形に改革が行われることになり，新聞，テレビをはじめ各種メディアを賑わせています。中学・高校の現場においても，様々な課題を抱えながらも，これまでの「読む」「聞く」だけでなく，「話す」「書く」を加えた四技能をどのように伸ばしていくかという観点から，個々の教員が工夫を行っています。そこで今年の支部研究大会は，4 技能統合型授業に焦点を当て，中学・高校から大学までの現場の具体的な課題を共有した上で，どのようなアプローチが可能であるかを探ります。

午前中のワークショップでは，講師に坂本彰男先生（福岡女学院中学・高等学校）をお迎えし，「無理なく楽しく表現力が身につくスピーキング＆ライティング実践 ― CEFR に対応した実践を求めて ―」というタイトルで行っていただきます。過去 10 年間に及ぶ教育実践の中で坂本先生が練り上げられた表現教育についてご紹介いただく予定です。午後の講演では，和泉伸一先生（上智大学）にご登壇いただき，「Teaching English in English in the New Era―A CLIL Approach―」というタイトルでお話いただきます。上智大学は，共通英語に CLIL（Content and Language Integrated Learning）をいち早く導入されており，和泉先生は日本における CLIL の第一人者の1人でいらっしゃいます。講演では，CLIL のアプローチについて，高等学校の教科書を例に，参加されている会員の皆様に実際に体験をしていただきながら，CLIL を解説いただきます。

シンポジウムでは，川瀬義清先生（西南学院大学）をコーディネーターにお迎えし，大学から細川博文先生（福岡女学院大学），高校から田中十督先生（西南学院中学・高等学校），中学から奈良圭先生（福岡大学附属大濠中学・高等学校）がパネリストとしてご登壇いただきます。「運用力を高める4技能統合型授業に向けたアプローチ」という大会テーマのもと，それぞれの現場での実践や課題について，みんなで考えていきたいと思います。

大会の情報交換会は，大会会場と同じ文系センター棟 16 階のスカイラウンジで開かれます。天気が良ければ，福岡市の夜景を一望できる会場です。講師の先生方にもご参加いた

だく予定ですので，さらに議論を深めていただけたらと思っています。

大会まで1ヶ月半となりました。大会の準備は最終段階になっており，プログラムも，まもなく皆様のお手元にお届けできる頃かと思います。会員の皆様にとって，「参加して良かった」と思っていただける大会になるよう，実行委員一同準備に励んでおります。1人でも多くの会員の皆様に，福岡大学においてお目にかかれますことを楽しみにお待ちしております。

写真．福岡大学正門より文系センター棟を臨む

「体験しながら学ぶタブレット PC を使った英語学習活動」報告

LET 九州・沖縄支部副支部長
植田　正暢（北九州市立大学）

2017 年 12 月 9 日に福岡大学で秋季学術ワークショップが開催されました。講師は中村純一先生（佐賀市立大和中学校教諭）で，2016 年に開催された第 45 回 LET 九州・沖縄支部研究大会（於北九州市立大学）でもワークショップの講師としてご登壇いただきました。今回のワークショップでは，学習者が協力して主体的に学べるようにするためにどのようにICT 機器，とりわけタブレット端末が利用できるのかというテーマでお話しいただき，ワークショップ参加者は実際にタブレット端末を操作しながら主体的・対話的で深い学びの一端に触れることができました。

ワークショップの冒頭で，全国的なモデルとなるような学校では ICT による学習環境が高度に整えられ，そのようなところで行われている授業を観察すると感銘を受ける一方で，普通の学校では実現できないという落胆を味わうことがあるというお話しがありました。すべての学校や教員がすぐにICTを利用した最先端の教育環境を準備できるわけではありません。しかし，ICT がもつ潜在的な力を利用することで教育の質を上げることができることをふまえると，ICTを利活用した教育に向かうことは避けて通ることはできないという指摘でした。そこで，今回のワークショップでは，ICT を導入するための第一歩として，普段の授業に ICT を取り入れるためのヒントを提供することが主眼となっていました。

ICT を利用する環境があまり整っていない

写真．ワークショップの様子

学校や利用する機会が少ない教員にとって，普段の授業に ICT を取り入れるといってもどこにどのように ICT が利用できるのかは分かりにくいものです。そこで中村先生は learning verbs を提示し，日頃の授業で行っている活動を learning verbs を使って見直すことから始めることを勧められました。learning verbs とは repeating, drawing, writing, measuring などの動詞であり，授業中の活動をこのような動詞を用いて分析することによって授業内活動に ICT を取り入れる手がかりが得られるようになるということでした。

learning verb を手がかりに ICT を取り入れたい部分が決まったら，次にすることはタブレット端末のどのような機能やアプリケーション（以下，アプリ）を用いるのかを検討することになります。中村先生は大きく 2 つのアプローチを示してくださいました。1 つは端末にもとから備わる機能やアプリを活用するというものであり，もう 1 つは目的にあったアプリをインストールして利用するというものでした。

端末に備わる機能やアプリを利用する方法として最初に示されたのは，たとえば音声教材などを入れておき，聞きたい場所に持っていって聞くというものでした。単純な使い方かもしれませんが，タブレット端末を授業に取り入れるという意味ではこれも 1 つの方法と言えます。また，端末に最初から入っている音声アシスタント・アプリを利用する方法が紹介されました。音声入力の際に言語を英語に切り替えておけば，指示を英語ですることによって音声アシスタント・アプリを介して英語を話す練習ができます。また，このようなアプリの利点は入力に対するフィードバックがあるため，学習者からしてみると自分の英語がどのように認識されたのかを確認することができます。また，ワープロやメモ帳などのアプリで音声入力機能を利用することで，自分が発音した英語が文字となって見えるため正しく発音できたかどうかを確認することができます。さらに，学習者は音声アシスタント・アプリや音声入力を利用した際に意図しない結果になった場合，どうにかして意図した結果を得ようと努力するため，従来ながらの発音練習と比較すると学習者自らが繰り返し活動を行うことを自然と促すことができるという利点がありました。

アプリを利用するという 2 つめのアプローチではさまざまなアプリを紹介していただき，実際にワークショップ参加者もそのアプリを用いて活動を体験しました。アプリの中には英語の技能に焦点を当てたものがあり，リスニング用のアプリや発音練習用のアプリなどが紹介されました。筆者にとって印象的だったのは技能を磨くためのアプリよりもアプリを介してグループ活動を行うものでした。紹介されたアプリの 1 つに Puppet Pals がありました。これはスクリーン上で指で操作できるパペットの動きと動かしている人の発声を同時に記録することで，音声付きの簡単なアニメーションを作成することができるアプリです。このアプリを利用しグループでアニメーションを作るという課題を与えれば，学習者は協力してストーリーを作ってアニメーションを完成させることになります。目的を達成するまでの活動では学習者 1 人 1 人が何らかの役割を担って活動に参加し，ストーリーを考えアニメーションを作成する段階で学習者間のインタラクションが促されます。もちろんストーリーの作成からアウトプットのまでの活動を通してさまざまなことを主体的に学ぶことも期待され，協同学習がうまく機能すると思われました。実際，ワークショップ参加者同士でグループ活動をしましたが，どのグループでも積極

的に活動しているようでした。1 つのアプリでは特定の種類の活動しかできませんので，複数のアプリを利用する必要はあると思いますが，授業とアプリをうまく組み合わせることによって従来型の授業だけでは手のとどかなかった部分が強化できると感じました。

最後に，中村先生の日頃の活動が評価され，2015 年に Apple Distinguished Educator に認定されています。詳細は『Mac Fan』(2018 年 1 月号，マイナビ出版)に紹介されていますので，ご興味のある方は「教育と Apple」(pp.158-159)という記事もご参照ください。

LET2017 年度理事会報告

LET 九州・沖縄支部前副支部長
荒木　瑞夫（宮崎大学）

2017 年度 LET 全国研究大会初日である 8 月 5 日(土)12 時 30 分より 16 時 30 分まで，名古屋学院大学(名古屋市)において 29 名中 26 名の出席をもって，理事会が開催されました。柳善和会長の挨拶ののち，2018 年度全国研究大会開催支部である関西支部支部長の杉森理事が議長を務めることが全会一致で了承されました。その上で，2017 年度で現会長の柳善和氏が 2 年の任期が満了となるため，次期(2018–2019 年度)の会長選出の投票が行われました。その結果，柳善和氏が過半数の票を集め，次期会長として選出されました。

以下，理事会で審議・報告された議案について報告します。

＜審議事項＞

1. 支部提案事項(1) 学会法人化について(関東支部から)

関東支部から，法人化に向けての具体的な作業の検討が提案され，本部事務局より回答がありました(ただし，関東支部でも，法人化ありきで進めたいと意見が統一されているわけではないとの補足説明もありました)。本部事務局からの回答は，1) 支部紀要予算の本部移管(紀要発行の一本化)については，印刷媒体での発行費用が現状の会費でまかなえず，電子媒体のみに移行することも検討する必要がある，2) 名簿管理の一本化は経費削減にも必要で，名簿サーバーではすでに一本化されており，法人化と同時に支部個別対応から一本化に対応できる，3) 会則を約款に改める作業は業者のサポートにより可能である，というものでした。

2. 支部提案事項(2) 2018 年度全国研究大会について(関西支部から)

2018 年度全国研究大会(関西支部担当)の日程を 2018 年 8 月 7 日(火)～9 日(木)とし，場所を千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市)とすることが提案され，了承されました。

3. 2016 年度本部事業報告

資料に基づき説明があり，承認されました。

4. 2016 年度本部決算報告

資料に基づき説明があり，承認されました。

5. 2017 年度事業計画・予算案

資料に基づき説明があり，承認されました。

6. 2020 年度の全国大会開催日程について

継続審議となっていた 2020 年度全国研究大会の開催時期について，開催支部である九州・沖縄支部の原案である 2020 年 10 月 10 日（土）から 10 月 12 日（月・祝）について再度審議が行われ，上記日程で決定しました。

7. FLEAT 7 の開催について

FLEAT 7 を 2019 年度に東京で開催する案が承認されました。日程は 2019 年 8 月 6 日（火）から 9 日（金）の 4 日間，会場は早稲田大学を原案とし，LET 全国研究大会をこの日程に含めるかどうかについては，調整をへて継続審議をすることとなりました。

8. 機関誌 54 号電子版の公開について他

(1) 従来は紙媒体での機関誌発行から電子版の公開まで 1 年間の猶予期間を設けていましたが，この猶予期間を廃止することの提案があり，承認されました。

(2) J-STAGE での電子版公開に当たっては筆頭執筆者の e メールアドレス公開が必要となりますが，投稿受付時に指定するように変更する旨が提案され，承認されました。

(3) 全国機関誌の編集・査読委員が不足していることから，編集委員会より増員が要望され（審議の時点では関東支部，関西支部が 4 名ずつ，中部支部，九州・沖縄支部が 2 名ずつ），各支部で議論されることとなりました。

＜報告事項＞

1. 2017 年度各支部選出役員について

機関誌編集委員会の事務局長が 2017 年 7 月末に，石川有香氏（中部支部）より天野修一氏（同）に交代すること，編集委員の大薗修一氏（九州・沖縄支部）が志水俊広氏（同）に交代することが報告されました。

2. 2017 年度正会員数について

2017 年 7 月 11 日付で 1,436 名となり，前年同時期より 27 名増であることが報告されました。

3. 2017 年度賛助会員について

賛助会員総数は 38 社から 37 社に減少しましたが，新規で 2 社登録があったことが報告されました。

4. 学会機関誌第 54 号の発行について

機関誌 54 号の発行が完了した旨が報告されました。

5. 学会機関誌 J-STAGE への移行状況について

機関誌 50 号までの CiNii から J-STAGE への意向が完了し，51 号以降の新規登載作業中であること，J-STAGE での公開ルール（筆頭著者の連絡先掲載，所属表記に身分職名を含めない）について説明がありました。

6. 次号 Newsletter 発行について

議案書に沿って説明がありました。

7. メルマガの発行形態について

メルマガを SNS に統合する提案がなされたものの，過去記事の検索がしにくいとの指摘もあり，検討を続ける旨が報告されました。

8. 関連学会との連携について

関連学会との連携関係を維持し，引き続き会費を支払うことが説明されました。

9. あゆみコーポレーションとの打合せについて

会費徴収等の業務委託先であるあゆみコーポレーションを本部事務局長が訪問打合せした内容が報告されました。現在の委託業務に

ついての確認・協議の他に，将来の可能性として法人化・大会運営業務の委託についても情報収集したことが説明されました。同社のこれまでの対応から，今後より多くの業務を委託することについて慎重になるべきだとする意見もありました。

＜各種委員会からの報告＞

1. 学会賞選考委員会

議案書に沿って，2017 年度の受賞者選考と結果（学術賞・新人奨励賞）について報告がありました。

2. メルマガ編集委員会

ブログの記事更新状況について報告がありました。

3. 国際交流委員会

FLEAT 7 への対応状況，2017 年度全国研究大会への IALLT メンバーからの発表申込みへの対応について報告がありました。

4. 機関誌編集委員会

上記審議事項の際に，あわせて報告がなされました。

＜各支部報告＞

1. 2016 年度各支部事業報告・決算及び 2017 年各支部事業計画・予算について

資料にそって各支部の報告がありました。関東支部が新規に紀要発行を開始したこと，中部支部より新規の研究部会の報告がありました。

2. 第 56 回（2016 年度）全国研究大会決算報告

関東支部より，標記の報告がなされました（2016年度会長副会長会議で審議済み事項）。

3. 第 58 回（2018 年度）全国研究大会進捗状況

関西支部より，2018 年度全国研究大会の準備状況について報告がなされました。

4. 2018 年度以降の全国研究大会予定について

本部事務局より，2022 年度までの開催担当支部について確認がありました。2020 年度第 60 回大会（九州・沖縄支部担当）に，記念事業を行うか意見交換しました。2018 年度以降の全国研究大会担当支部は以下の通りです。

2018 年度：関西支部
2019 年度：関東支部
2020 年度：九州・沖縄支部
2021 年度：関西支部
2022 年度：関東支部

＜ネット稟議追認事項＞

高専第 4 ブロック研究推進フォーラム協賛申請について報告がなされ，協賛することで了承されました（ネット稟議ですでに承認済み）。

以上。

新運営委員のごあいさつ

大下　晴美（大分大学）

LET 九州・沖縄支部の皆様，はじめまして。今年度より運営委員を務めさせていただくことになりました大分大学の大下晴美と申します。LET 学会は，参加する度に新たな発見があり，本当にいい勉強の場になっています。運営委員としては，不慣れなことも多く，ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが，LET 九州・沖縄支部の発展に少しでも貢献できるよう尽力をさせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

佐々木　有紀（福岡大学）

本年度より LET 九州・沖縄支部の運営委員を務めさせていただくこととなりました，佐々木有紀です。本学会に入会して 2 年目で大役を拝命し，行き届かないことも多いかと存じますが，少しでも会員の皆様のお役に立てるよう精一杯務めさせていただきたいと思っておりますので，よろしくお願いいたします。まずは，新支部長の長加奈子先生，新事務局長の林幸代先生の新しい執行部体制のもと，6 月 16 日(土)に福岡大学で開催される LET 九州・沖縄支部大会の成功に向けて，微力ながらお手伝いをさせていただくことから頑張ります。

筒井　英一郎（北九州市立大学）

今年度より九州・沖縄支部の運営委員としてお世話になります筒井と申します。現在，北九州市立大学（ひびきのキャンパス）に所属しています。ネットワーク型の語学学習・言語活動を通して学習者の成長を支援することに軸足を置き，学生・助手時代は東京，前職では広島を拠点に活動してまいりました。2 年前より九州・沖縄支部でお世話になっております。幼少期に数年過ごした下関で関門海峡を眺めている際，その向こう側に自分の将来の地が広がっているとは想像しておりませんでした。そんな北九州で，全国大会の開催が予定されていますが，参加者の方々の記憶に残る大会運営と当支部のさらなる発展に微力を尽くしたいと思っております。今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

事務局からのお知らせ

【第 47 回支部研究大会】

第 47 回支部大会が以下の日程で開催されます。

日時: 6 月 16 日(土)10:00～18:00

会場: 福岡大学

(福岡市城南区七隈 8−19−1)

大会テーマ:運用力を高める4技能統合型授業に向けたアプローチ

資料代:非会員 1,000 円, 非会員(学生)500 円, 会員無料

プログラム

1. ワークショップ
   講師:坂本彰男先生(福岡女学院中学・高等学校)
2. 基調講演
   講師:和泉伸一先生(上智大学)
3. シンポジウム
4. 研究発表
5. 情報交換会

皆様のご参加をお待ちいたしております。

【第 58 回全国研究大会】

第 58 回 LET 全国大会が以下の日程で開催されます。

日時: 8 月 7 日(火)～9 日(木)

会場: 千里ライフサイエンスセンター

(大阪府豊中市)

大会テーマ:外国語教育における 4 技能評価の再考

<Reconsidering Four-skill Assessment of Foreign Language Proficiency>

詳細につきましては大会ホームページ(http://www.j-let.org/let2018/home/)をご覧ください。

【会費納入のお願い】

2018 年度の会費振り込みのお願いが, 登録住所宛に送付されていると思います。まだお振り込みいただいていない会員の方は, お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします(個人会員・団体会員は 6,000 円, 学生会員は 3,000 円)。未納の状態が続く場合には支部からの発送物を停止させていただく場合がございます。支部の円滑な運営のためにもご協力お願いいたします。なお住所・所属等に変更が生じた場合には, 学会本部の HP より変更していただきますようお願い申し上げます。

【LET ホームページ】

LET 本部: http://www.j-let.org

LET 九州・沖縄支部

http://www.j-let-ko.org/

【LET 九州・沖縄支部事務局】

〒841-0180

福岡市城南区七隈8丁目 19-1

福岡大学 共通教育研究センター

文系センター14 階 1419 林幸代研究室